

南アフリカ通信 Vol.44

ついにワールドカップ開幕。南アフリカ代表は大統領臨席の初戦を飾ることができたのか、われらがサムライブルーは高地トレーニングの成果を初戦で発揮できたのか、非常に気になるが、この原稿は開幕前に書いていたので、そこまでは分からない。

ただ、すでに南アが興奮状態にあるのは確かだ。最近、プンゼラの音が朝から聞こえるのだ。道路に出れば、参加国の小旗をなびかせた車が次々に通る。昨日、ヨハネスブルグでパレードが行なわれた。サポーターたちはプンゼラを思いっきり吹き、居合わせた車はクラクションを目一杯鳴らしていた。普段はスーツを着た人が多いのに、この時はユニフォームを着た人しかいなかった。

市中では、さまざまな飾り付けが施されているが、また工事中のところが多い。おそらく決勝までには終わるだろう。開幕に間に合



Gettyimages

いよいよ南アフリカ・ワールドカップが開幕した。われらが日本代表の様子は？ 現地の盛り上がりはいかに？ 現地在住の日本大使館領事が最新の情報を直送する。

文・写真◎新保 剛

「頼んだぞ 青きサムライたち」



▲ヨハネスブルグ空港の警備にあたる警官隊。写真の警官たちは実際に日本代表のチャーター機を警備した



▲開館地にも開設される日本大使館臨時事務所の館員が着るジャケット。オランダのチームカラーだが...

わなないあたりがアフリカ的なのだが、ちよつと困る面もある。試合会場へのアクセスのことだ。以前紹介したアクセス方法は、パークアンドライド（Park & Ride）だけのはずだったが、利用しやすいパークアンドウォーク（Park & Walk）もあることが最近分かった。また、料金は無料のはずだったが、ケーブルタウンは有料、ヨハネスブルグも有料でパーキングチケットの事前購入が必要であることも分かった。大使館ではできる限り情報収集と確認に努めて大使館のホームページに掲載している。サポーター諸君も注意してほしい。本部と現場の対応が違うのは、アフリカではよくあることなのだ。現場でも、人によって対応が変わったりするので、試合を見逃さないためには、スタジアムの自席に着くまでは早めに行動しよう。目標は一つ、日本代表の試合を見ること。そして勝利を祈ろう。

第二戦のあるダーバン（Durban）の別名はエテクウェニ。市役所のパンフレットによればスール語で海と陸が出会う場所という意味だそう。われらの日本代表も勝利と出会ってほしい。

著者プロフィール◎一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp>

在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html